

自己紹介：夢と生活不安

クリストファー・はろだいん・ツイと申します。テキサスのダラスからまいりました。二歳の時から、ファイナルファンタジーとドラゴンクエストなどのゲームをし始めました。子供のころから、頭を使うゲームとせんりゃくがいるゲームにかんけいする事にかんしんを持ってきました。電気工学は人気があり、役に立ちそうなので、スタンフォード大学に入学し、電気工学を専攻しました。しかし、大学の時に、たくさんコンピュータービジョンとグラフィックスについて研究のレポートを読み、また Nintendo Wii が発売され、人気になったのを見て、どうやったらビジョンとビジュアルインターフェイスでゲームをもっとクリエイティブに、そしてバランスのとれた物に出来るかをよく考え始めました。ですから、大学を卒業したら、MIT大学院のコンピューターサイエンス部に入学しました。けれども、MITに入学する前に、ポケモンワールドチャンピオンシップス2008年で、親切で私のようなポケモンが上手な日本人のプレイヤーが8人会えました。男の人と女の人にも知り合って、晩ご飯を食べながら、色々なポケモンについて話して、楽しみました。その時に、日本人が控えめで、つつましやかで、競争心が強なくて、創造が好きな性格を始めて見て、感動してすぐに好きになりました。しかも、日本人のプレイヤーが日本へ帰ってから、よく新しいポケモンのお土産やゲームや贈り物を送ってくれて、感動させてくれました。日本語を一生懸命勉強して、ポケモンゲームを作るゲームフリークという会社で働きながらポケモンが上手な日本人の女の人と結婚してポケモンチャンピオンになる子供を作るという夢がふたたび目覚めました。PhDの研究はそのゲームフリークのプログラミングとプランニングの仕事に役に立つかどうか分からなかったので、最近MITから休学して、カリフォルニアへグーグルのインターンシップをしに帰りました。

それに、いつも考えたり、色々とそうぞうしたりする性格です。真面目で、れいせいで、あまり緊張しない性格ですが、時々大会や授業で競争心が強いので、かたくなに信じる事を守ります。いつも野心のある大きい事がそうぞう的にしたり、有名なゲームをデザインしたり、上手なプログラマーになったり、みんなに読まれる本やレポートも書いたりするつもりなので、生産性のない事や自分をかいぜん出来ない事が嫌いです。とにかく、見る事や観光旅行するような事や時間をむだにする趣味を全然しません。というのは、私にとって主な心配は、まだまだ習わなければならない事がたくさんありますが、時間がいつも少なすぎるという問題です。しかし、じゅんびをしておきすぎるのが好きだし、自信が強いので、スポットライトをあびる事はとてもわくわくさせてくれます。発表とかプレゼンテーションとか期末試験とかこわい面接とかトーナメントなど、全部大好きです。ふつの問題（お金や成績）にあまり心配しないで、ゆいいつの生活不安は、死ぬ前に世界に何かインパクトがあたえられるかどうかまだ分からない事です。というのは、生活中に有名な本を書いて発表したり、世界にポケットモンスターのようなすごく人気があるゲームを作ったり、ポケモンワールドチャンピオンシップスに優勝したりしたいです。夢がかなう前に、休めなくて、一生懸命頑張らなくてはいけません。